ソフトテニスハンドブック　　令和3年(2021年)4月発行

2021年12月15日ハンドブックの一部改訂「ヒートルール」について

「競技規則」第46条(ヒートルール)

会場での気温(乾球温度)が35℃以上となり、ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に3分間のコート内の日傘による日影(アンパイヤーの目の届く範囲)での休息を許可する。

なお、3分間については、第17条(2)の1分間を合むものとする。

(1)団体戦の場合、1分間は助言を受けることができるが、残りの2分間については助言をうけることはできない。

(2)気温の測定にあたっては、大会責任者等がコートサイドの風通しの良い場所を決定し、1時間~2時間の間隔で実施する。

(3)会場で正確な気温が測れない場合は、環境省が提供する「暑さ指数 (WBGT)予測値等電子情報サービス」の会場地に最も近い地点でのWBGT値を参考とする。

参考　「競技規則　第17条(2)」

　マッチの開始から終了まで連続的にプレーし、次の行為をしてはならない。

ただし、サイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合は、ポイントの終了から1分以内に次のポイントを開始する態勢に入るものとする。(レッツプレー)

2022.8.20

本大会におけるヒートルール適用について

山口県小学生ソフトテニス連盟

令和3年(2021年)4月発行ソフトテニスハンドブックに「ヒートルール」の条文が追加されたため、本大会においても熱中症対策としてヒートルールの適用をします。

「ヒートルール」適用時は放送にて連絡します。試合途中であっても適用された場合、ファイナルゲームに入る前に3分間のコート内の日傘による日影(アンパイヤーの目の届く範囲)での休息を許可します。

個人戦は選手以外のベンチ入りを禁止していますので、日傘が必要となった場合、チーム関係者は速やかに日傘を選手へ渡すことを認めます。(但し、アドバイスは不可)

「ヒートルール」解除は放送にて連絡します。

追伸:日傘については、黒色、紺色をベースとし、反射するロゴマーク等があれば、

使用する向きに配慮をお願いします。